

8 河内地域



1 地域の概要

河内地域は、東広島市の東部に位置し、緑深い自然環境と清流に恵まれた地域で、古くは沼田川流域に沿って二反田古墳群などの古墳群や集落が形成されたほか、篁山竹林寺は平安時代の文人小野篁にゆかりがあるとも言われており、本堂は国の重要文化財にも指定されています。明治時代の鉄道の開通により、河内駅を中心に木材や農産物の集積地として発展してきました。

東を三原市、西を高屋地域に接し、東西に JR 山陽本線が横断するほか、地域の南側には、山陽自動車道の河内インターチェンジ（以下：河内 IC）があるほか、広島空港へも近接するなど、陸・空の広域・高速交通へのアクセスに恵まれた地域です。沼田川とその支流沿いに広がる平地部や北部地域には集落が点在し、田園風景が広がっています。丘陵地が広がる南部地域では、大規模な工業団地や住宅団地などが整備されています。

また、旧河内町においては、「心豊かなすみよいまち 元気な河内 ～交通の利便性と豊かな自然を活かした快適な生活を求めて～」を掲げ、「高齢者が活躍する」「若者や女性が元気に参画する」「高速交通条件を活かす」「自然と田園環境を活かす」「河内町型ライフスタイル※1 を実現する」「地域の歴史や文化を継承する」を基本理念にまちづくりを進めてきました。

2 まちづくりにおける現状と課題

昭和 22（1947）年の 11,172 人をピークとして、人口は緩やかな減少傾向が続いており、現在は約 5,900 人となっています。南部では、広島空港への近接性や山陽自動車道の河内 IC や JR 山陽本線があり、それに伴い産業団地や住宅団地が立地するなど、恵まれた広域交通の環境があります。さらには、開発可能な未利用の公有地があり、新たな産業を呼び込める可能性がある地域です。北部には、豊かな自然や田園環境が広がり、小学校跡地を利用した体験交流施設など、集落法人等がそれぞれの地域で特徴的で活発な活動を実施しています。また、小中一体型施設と分離型施設による特色ある小中一貫教育の計画も進んでいます。

一方、人口の減少、高齢化、空き家の増加が続いています。また、若者に魅力的な雇用の場が少なく、若い世代が流出し、地域活動の担い手不足や地域の支え合いの力が弱まっていることが課題となっています。

将来を見すえ地域の活性化を目指すには、広島空港、河内 IC の活用及び未利用公有地を活用した産業団地の整備、地域拠点※2 における生活支援機能の充実、定住人口の増加対策、付加価値の高い農業の振興など様々な取組みを推進していく必要があります。

※1 ライフスタイル：人生観・価値観などにに基づき、個々に選択する、個人や集団の生き方。

※2 地域拠点：各生活圏の居住者の生活を支える、地域の核となる拠点。

※3 イノベーション：経済発展の最も主導的な要因。「新結合」「新機軸」。新たな価値を創造し社会に大きな変化をもたらす幅広い意味での革新。

※4 AI：Artificial Intelligence の略。人工的につくられた人間のような知能、ないしはそれをつくる技術。

※5 IoT：Internet of Things の略。モノのインターネット化。様々な「モノ（物）」がインターネットに接続され、情報を交換することにより相互に制御することが可能となる仕組み。

※6 6次産業化：農林水産業が食品等の素材・原料の生産（1次産業）だけでなく、商品加工（2次産業）や流通販売・情報・観光（3次産業）にも取り組むこと。農林水産業の総合産業化（1次×2次×3次＝6次）。

※7 スマート農業：ロボット技術や情報通信技術（ICT）を活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現する等を推進している新たな農業。

3 まちづくりビジョン

(1) 将来像

地域の現状と課題を踏まえ、まちづくりにおける将来像を次のとおりとします。

**豊かな自然と空港や鉄道等の交通利便性を活かした
ゆとりと活力のあるまち**

(2) 主要な施策の方向性

基本計画に掲げる施策とともに、本地域で推進していく主な施策は次のとおりです。

仕事 づくり

項目	施策の方向性
産業イノベーション※3の創出	<ul style="list-style-type: none"> 企業等へのAI※4/IoT※5の導入支援とともに、恵まれた自然環境を活かした新たなビジネスの創出を図ります。
農山漁村の魅力づくりと農林水産業の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 集落営農を中心とした6次産業化※6とスマート農業※7による生産性の向上を推進するとともに、農業参入企業の誘致を図ります。 若手農業者等多様な担い手の取組みに対する支援を進めるとともに、「農」のあるライフスタイルの実現を推進します。 賀茂バイオマスセンターを活用した林業の振興を図ります。
地域資源を活かした観光の振興	<ul style="list-style-type: none"> 民間事業者の参入も含め、空港や高速道路等との近接性を活かした、農泊などの体験型観光、リバーサイドフェスティバルをはじめ、白竜湖・深山峡など地域資源を活用したイベントや交流事業を支援します。

暮らし づくり

項目	施策の方向性
暮らしを支える拠点地区の充実	<ul style="list-style-type: none"> 河内駅周辺において、医療、福祉、子育て、文化、交流等の生活利便施設の集積により、拠点機能の充実を図るとともに、良好な住環境を形成します。 河内駅駅舎の活用等を含め、拠点地区における活性化やにぎわいの創出を図ります。 空き家対策の推進、二世帯居住等の促進により、居住環境の向上を図ります。
安全で円滑な生活交通の充実	<ul style="list-style-type: none"> あゆピチふれあい号の運行維持、活性化を推進します。 身近な交通道路網となる県道等の整備を推進します。 市民生活を支える移動手段の確保・活性化を図ります。
多文化共生と国際化の推進	<ul style="list-style-type: none"> 技能実習生等の外国人市民の生活環境の充実を図るとともに、多様な言語・文化等の違いを超えて活動を支援します。

人づくり

項目	施策の方向性
乳幼児期における教育・保育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域特性に応じた幼児教育等の子育て支援環境の充実を図ります。
高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践	<ul style="list-style-type: none"> ● 教育の質を高め「生きる力」を育むため、特色ある教育活動の推進、教育環境づくりを進めます。
市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 生涯学び、活躍できる環境として、学習活動の充実、芸術文化活動の活性化を進めます。 ● 大学や試験研究機関等との連携の充実を図ります。 ● 箕山竹林寺や沼田川流域の古墳群など郷土の歴史の保存と活用を推進します。

活力づくり

項目	施策の方向性
多様性豊かな市民の力が輝くまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然豊かな環境を活かし、創業・起業と連動した移住・定住の促進とともに、交流人口の拡大を図ります。 ● 移住・定住に係る情報発信力の強化、コーディネート機能の向上を図ります。 ● 県立河内高等学校と地域との連携による、地域の活性化の支援を図ります。 ● 小学校跡地の活用を促進します。
都市成長基盤の強化・充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 河内駅周辺における市街地の活性化を進めます。また、JRの利便性向上、河内駅・入野駅のバリアフリー化等を促進します。 ● 空港民営化後における周辺地域の活性化を図るため、未利用県有地について広島県と早期の利活用に向けて調整を行います。
交通ネットワークの強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 高速道路や空港との近接性を活かして、交通ネットワークの充実を図ります。 ● JR、バス等の利用を促進し、サービスの維持、活性化を図ります。

安心づくり

項目	施策の方向性
災害に強い地域づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 被災箇所の早期復旧を進めるとともに、地域の復興に資するよう、棕梨川などの河川改修の促進や、ソフト対策等の防災・減災対策を推進します。
健康寿命の延伸による生涯現役社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康維持や介護予防のための通いの場や地域サロンの充実を図ります。
誰もが生き生きと暮らせる地域共生社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域において、気軽な交流の場、障害の有無や年齢等にかかわらず、全ての市民が集える場づくりを進めます。
安心して子どもを産み育てられる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 子育て支援機能の充実、子育てサポーターの育成を進めます。

(3) 構想図

